




末廣酒造 株式会社 博士蔵

令和2年8月現在

カナ	スエヒロシヨウカブシキガイシャ ハカセグラ	カナ	シンジヨウ イノキチ	役職	代表取締役
企業名	末廣酒造株式会社博士蔵	代表者名	新城 猪之吉		
所在地	〒969-6207 福島県大沼郡会津美里町字宮里81				
TEL/FAX	TEL : 0 2 4 2 - 5 4 - 7 7 8 8	FAX : 0 2 4 2 - 5 4 - 4 5 4 8	HPアドレス	http://www.sake-suehiro.jp/	
業種	酒造業		創業年月	嘉永三年	
資本金	5, 0 0 0万円		従業員数(男女比)	5 5名 男女比 (6 : 4)	

本社名	末廣酒造株式会社嘉永蔵				
本社所在地	〒965-0861 福島県会津若松市日新町12-38				
TEL/FAX	TEL : 0 2 4 2 - 2 7 - 0 0 0 2	FAX : 0 2 4 2 - 2 7 - 0 0 0 3	HPアドレス	同上	

沿革



会津・保科正之公の家臣として家を興し、御用酒蔵として名を馳せていた新城家から、江戸時代の末期 嘉永三年（西暦1850年）に包格（初代猪之吉）が分家独立して酒造りを開始した。三代目は品質の向上と安定のため県外の技術者を招聘し、福島県で初めて杜氏による酒造りを実現した。また、県外への販売に力を注ぎ、本宮・東京へ進出し、明治末期には会津で一・二の生産量を誇った。四代目は更に酒質の改良に全力を注ぎ、丹波杜氏を招いて灘式の醸法を採用した。大正四年には清酒「末廣」が宮内省御用達になり、各種品評会で数々の賞を受け、会津清酒の名声を全国に広めることになった。五代目、六代目に入って、原点に帰り「酒づくりは米づくりから」ということで、地元会津の200件の農家と契約栽培に取組み、また、安全な原料をとる声に「有機栽培」による原料米調達を開始した。また、自家製酵母の開発にも力を入れ、会津の米、水、会津杜氏にこだわり、酒造りの伝統技法を頑なに守りながら、科学的な理論と合理的な設備の導入により、新しい伝統を再構築しそれを継承させた。現在の当主七代目は、原料のこだわりを継承しつつ、平成八年に会津美里町に「博士蔵」を竣工させ、次世代に向けた新しい酒造りに着手した。また、本社「嘉永蔵」は会津若松市の歴史的景観指定建造物に指定され、手造りによる醸造をしながら、喫茶店、コンサートホール、売店、クラシックカメラ館などを併設し、観光蔵として、また地域の文化活動の一躍を担う場所として活用されている。清酒の売上が低迷する時代に入り、市場を海外に求め輸出を開始した。ニーズの多様化に伴う新製品も次々と発表し、微発泡酒「ぶちぶち」や、製法の原点に帰った「山廃純米酒」を投入し売上は好調である。（山廃とは、酒母造り手法のひとつで、明治末期に理論が確立され、大正時代に当社で実地醸造された酒母。生酛系酒母のひとつである。）

事業概要

・清酒製造・販売業
 関連会社として「有限会社すえひろ」があり、喫茶店等を運営。



主な取引先
 福島県南酒販株式会社／福島県酒類卸株式会社／ポーキ株式会社／日本酒類販売株式会社／全農（農協）／株式会社アスク／山形県食糧株式会社／丸藤ガラス株式会社／株式会社光陽／精英堂印刷株式会社／神田産業株式会社／会津パッケージ株式会社／高桑美術印刷株式会社

自社PR


本社は会津若松市にある嘉永蔵ですが、生産の拠点は平成八年に竣工した博士蔵です。

先人のお陰で現在（いま）があるということで、当社には戦前から功勞のあった方を記った「先人の碑」がありましたが、刻む場所がなくなったので、今から29年前の創業140年目に2つめの碑を建立しました。7月1日が会社の創立記念日ですので、6月30日には自主的にこの「先人の碑」の清掃を実施しています。同時に、会津の地場産業の礎をつくられた江戸時代の名家老「田中玄宰」翁の墓が小田山山頂にありますので、そちらも同じ日に清掃しております。

酒造りは「和醸良酒」と言われており、皆が協力してこそ美味しい酒が出来ますので、人間関係が大変重要になります。コミュニケーションが大事ですので、毎日のラジオ体操と朝礼は欠かさず行っています。又、朝夕の各部ミーティングも実行しております。また、酒造原料米の大切さを社員に知ってもらいたいので、当社契約有機米圃場で手作業による田植えと稲刈りを実施しています。酒造会社という古風で封鎖的な企業というイメージがあるかも知れませんが、以上のことよりそんなことはなく、現状の法律に合致した就業規則もきちんと整備・制定されており、男女平等雇用も網羅されております。育児・介護休業に関する規則なども整備されています。

この規則は、社員のみならずパート社員にも適用されております。当社の市場は国内のみならず、海外にも市場があります。アメリカから東南アジア、ヨーロッパの各地に末廣の酒が輸出されて、いろんな人々に飲まれています。

酒造り部門 猪股 直幸 (入社12年)



1回飲んだら忘れられない末廣の伝統の味に惚れ込んで入社しました。出身は博士蔵の地元、会津美里町出身です。伝統の重みを感じながら、日々酒造りに臨んでおります。入社当時の気持ちのように目標はシンプル目つ明確に「美味しい酒造り」を目指しています。出来上がったお酒が鑑評会などで評価されるのは大変な励みになります。

はたら先輩からのメッセージ



出荷配送部門 鈴木 陽平 (入社7年)

入社して7年目になり、製品を市内の卸店に配達する業務、県外の卸店等に送付する製品のピッキング作業、受注伝票発行などの業務を担当しています。歴史のある会社ということで、社風は固くて古くさいイメージがありましたが、入社してみると先輩の面倒見は良く

本社嘉永蔵では来社されたお客様（観光客）と直接接することなどが出来、イメージが変わりました。会社に入ってから、飲み会などで行った飲食店に当社の銘柄が置いてあるか否かが気になるようになりました。仕事以外でも勉強する機会があり、大変うれしい限りです。

代表者メッセージ

風土に根ざした原料（水、米）と会津の人々でつくり上げる真正正銘の地酒を目指す。座右の銘は「不易流行」で変えてはいけないもの（米、水、造り方）とその時代に合った新しいものをつくりあげることが大切である。この考え方を社員が共有することによって、会社の一体感が生まれ、このまとまりが会社の原動力となる。社是は「私たちは人を愛し、地域(まち)を愛し、そして地球を愛します」でお客様のお陰で商売が出来、地域に恩返しをしたいということで制定しました。これからもお客様の幸せを徹底して追求し、お客様に喜んで頂けるものづくりに徹していきます。社員が幸せになってほしい、誇り高く、志は大きく、社員一同業務に邁進していきます。

「末廣の七信条」という行動指針により、より良い製品造りを目指し、未来に向かって進んでいます。

S : Safety / 末廣は安全性を追求します。 U : Universal / 末廣は世界に羽ばたく会社になります。 E : Emotion / 末廣は感動を売ります。
H : Hermony / 末廣は調和を求めます。 I : Improvement / 末廣は進歩・改善をします。 R : Roman / 末廣はロマンを求めます。
O : Originality / 末廣は独創性を追及します。